

教育委員会だより

私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会の創り手となれるよう、教育委員会や各学校はさまざまな取り組みを行っています。その「今」を紹介します。

未来の大牟田について語り合い、学び合い、つながろう〜ユネスコスクール・SDGs/ESD交流会〜

教育委員会と各市立学校は、世界遺産、環境、福祉、まちづくりなど、地域の特色を生かしたESD(持続可能な開発のための教育)を進めています。我が国のESDをリードしてきたまちとしてさらにステップアップするため、昨年度から「ユネスコスクール・SDGs/ESD交流会」を開催しています。

今年度は8月20日に「未来の大牟田について語り合い、学び合い、つながろう!」をテーマに開催しました。

学校関係者だけでなく、企業や各種団体、市職員、学生などのさまざまな分野から100人以上が参加しました。

交流会のメインであるワークショップでは、参加者がそれぞれ6人ほどのグループをつくり、「大

牟田の未来を持続可能なものにするにはどうすればよいか」という課題に向き合いました。

各グループでは、

- ◆ 世界遺産
- ◆ 防災・減災
- ◆ キャリア
- ◆ 福祉
- ◆ 食文化
- ◆ 環境
- ◆ まちづくり

のいずれかのテーマで、この課題を解決するために「自分の立場でできること」や「協力できること」、支援できること」などについて話し合うとともに、それぞれの思いや考えを共有しました。

また、若い世代の教員や会社員、学生なども多く参加し、さまざまな年齢や立場の人たちによる活発な意見交換の場となりました。

ワークショップでの意見

◆ 子どもたちが地元企業のさまざまな体験をすることで、「ここで働きたい」という思いを持つことができ、「地産地消」の大切さを知ることができるとはな

い

◆ 子どもたちの学びを支える「企業バンク」をつくり、全学校で共有してはどうか

◆ 大学などで学んだことを伝えることで、子どもたちが、自分の進路について考えたり、将来の自分の姿につなげたりする手助けができるのではない

教育委員会は、この取り組みをきっかけに大人同士が協働すること、子どもたちの未来と持続可能なまちづくりに向けた活動が盛んになるよう、今後も支援していきます。



子どもたちの未来と持続可能な大牟田のまちづくりに向けた、貴重な意見交換の場とすることができました

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



福岡教育大学の石丸哲史副学長により「大牟田のSDGs/ESD これまでの成果とこれからの課題」と題して基調講演が行われました

総合教育会議を開催

10月26日に総合教育会議が開催され、市長と教育長・教育委員が小中一貫教育制度の取り組みなどについて協議しました。

教育委員会は、今年3月に「大牟田市小中一貫教育基本方針」を策定し、順次、全ての中学校区に小中一貫教育制度の導入を進めることとしています。

今年度、宮原中学校区（宮原中・駛馬小・天の原小・玉川小）では、来年4月の導入を目指し、制度の試行を本格的に進めています。小学生と中学生の交流や、スクールソーシャルワーカーと地域学校協働活動推進員が宮原中学校区内に常駐して活動していることによる成果などが報告されました。

この他、学校教育について活発な意見交換が行われ、課題や今後の方向性について共有しました。



市長と教育委員会が大牟田の教育と子どもたちへの思いを共有しました

中学生の思いの結晶が完成しました！

橘中学校生徒考案スイーツ「橘クローエもん」商品化

橘中学校では、2年生の1学期に「総合的な学習の時間」で、地元企業の職場見学や職場体験をしていましたが、新型コロナウイルスの影響を受けて、実施が難しくなっていました。

そのような中、子どもと地域の大人との「対話」を通じたまちづくりプロジェクト「ジュニアシティメーカー」の活動を行っている一般社団法人「OMUTABRIDGE」（オオムタブリッジ）からの提案で、昨年度の2年生は、校内で実施可能な「働く」をテーマにした体験学習を行いました。

昨年度の1学期、地元の企業や店舗経営者の方々のアドバイスを受けながら、地元産の農産物を使った新しいスイーツの商品企画に取り組みしました。そして、見た目は石炭、中のクリームに上内みかんを使った「石炭シュー」が校内でグランプリを受賞しました。

その後、「さらに活動を進めていきたい！」という意欲をもった9人の生徒たちにより、商品として磨き上げ、実際に販売することになりました。

思いを一つにした生徒たちは、商品、広報、デザインのチームに

分かれて、主体的に「対話」を重ね、大人の協力を得ながら商品開発を進めました。

そして「石炭シュー」の黒いシュー皮はそのままに、中のクリームには福岡県産「あまおう」を使い、夕日が有明海に輝く「光の航路」を地元産のみかんを使ったジュレで表現し、愛らしい目玉が付いた「橘クローエもん」が十分に完成しました。

生徒たちは、昨年11月13・14日に市内商業施設のイベントで、今年1月22日に大牟田駅西口広場で「橘クローエもん」を販売しました。あつという間に完売し、生徒たちは、主体的に取り組んだ成果と達成感を味わうことができました。

この「橘クローエもん」は、商品開発に協力をいただいた市内の洋菓子店で商品化されて販売されることになり、9月29日に市役所で報告会が開かれました。3年生になった生徒たちも出席し、代表の生徒は、「この活動を経験させてもらい、将来、大牟田のまちおこしにつながるような仕事をしてみたいと思っています」と力強く語りました。

主体的に頑張った生徒たちの創



活動を通して成長した生徒たちの頼もしい姿が印象的でした



大牟田の特産品を使い、生徒たちの思いを形にしたスイーツができました

造力と行動力、それをサポートした大人の理解と協力が、大牟田の未来を切り拓く希望の力となることでしょう。

■問合せ 教育委員会事務局総務課
教育みらい創造室（☎412867）



動物園へ行こう！

年内最後のスペシャルイベント

毎年12月14日は、「世界サルの日」です。サルを取り巻く現状などを考える日として制定されました。当園ではこれを記念し、12月11日(日)の13:30から、スペシャルイベントを行います。今年は「マンドリル」について話します。マンドリルは、西アフリカのカメルーンやガボンという国にある熱帯雨林に住んでいます。霊長類最大の群れをつくると言われていて、オスとメスの体格が2倍ほど違います。マンドリルの実際の重さや握力を体験できるコーナーも用意しています。

年内最後のスペシャルイベントです。皆さんの参加を待っています！

開園時間 9:30～16:30
 休園日 12月12日(月)、26日(月)
 29日(木)～1月1日(祝)
 電話 56-4526
 FAX 56-9551
 E_mail info@omutacityzoo.org

動物園
ホームページ



防寒対策をしっかりと！
皆さんの来園を待っています！



©Kiyoshi Nakamura

飼育員 ますざわさん



イベントの詳細は、21ページに掲載しています。

市民のひろば

参加してみませんか

チンドン屋で楽しみ、一緒に童謡を歌いませんか

★とき 12月25日(日)午前10時～

★ところ えるる

★定員 30人

★参加費 無料(歌詞集代100円)

★問合せ 大牟田童謡会・宮崎(☎090・1082・0108)

※歌詞集準備のため、電話は午後7時以降にお願いします。

エクセル初級講座

エクセルの操作説明後、家計簿と町内会費集金表を作成します。初心者でも分かりやすい内容です。

★とき 令和5年1月10日(火)・17日(火)午前9時30分～11時30分

★ところ 手鎌地区公民館

★参加費 無料

★持ってくる物 筆記用具

★問合せ パソコンサークル四ツ葉会・稲又(☎090・8288・9649)

サークル会員募集

エンジョイスマホ会

初めての人でも大丈夫です。楽しく活動しています。

●とき 毎月第1水曜日午前10時～正午

●ところ 三川地区公民館

●会費 月500円(資料代200円)

●問合せ 北原(☎090・2582・0713)

まなびあいの健康麻雀教室

「賭けない・飲まない・吸わない」健康麻雀です。認知症予防に楽しく脳トレーニングを始めませんか。

●とき 毎週火・土・日曜日午後1時～4時(月4回)

●ところ 火曜日：済生会・地域交流施設、土曜日：白川・地域交流施設、日曜日：中央地区公民館

●会費 月2000円

●問合せ 内田(☎0800・6402・8271)

エンジョイ卓球

11月から始まったサークルです。ラリーを中心に楽しく卓球をしています。月に1回講師からフォーム等を習います。気軽に参加してください。

●とき 毎週月曜日(第1週を除く)午後6時30分～8時30分

●ところ 三川地区公民館

●会費 月1000円
 ●問合せ 畑中(☎090・1348・3218)

※新型コロナの影響で、施設の休館や日程の中止・延期となる場合があります。入会を希望する人は問い合わせてください。

3年ぶりの開催
三池光竹

わたしが取材
しました！



左田野さん

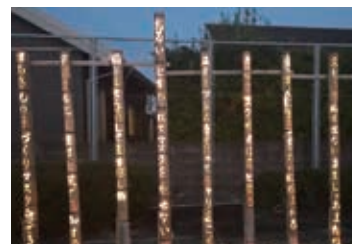


Instagramで情報発信中！

11月5日・6日に、大牟田の秋の風物詩「三池光竹」が三池原公園で開催され、たくさんの人で賑わっていました！

三池光竹は、受け継がれた豊かな自然を未来に守り継ぐことを目的で開催されています。放置された竹林整備と活用の一環として、約1万本もの竹灯籠が幻想的な明かりを灯しました。地元ボランティアの皆さんで運営されている祭りは温かみがあり、3年ぶりの開催にかける皆さんの思いが伝

わってきました。また、会場にはステージもあり、太鼓衆「響」をはじめとした演者の皆さんが、コロナ禍で開催機会が減った舞台を精一杯、力強く楽しそうにパフォーマンスしていました。ステージイベントのほか、屋台や竹を使った工作の体験もでき、大人も子ども楽しめるイベントでした。里山保全のために整備後の竹を活用することで地域活性化につなげている「三池光竹」。来年もどうか開催されますように。



あなたの暮らしに身近な

消費生活センター

えるる1階 (☎41-2623)

相談時間 平日午前9時30分～午後4時(12/29～1/3は休み)

〈相談事例 その1〉

大学の先輩に呼び出され「50万円のFX自動売買システムを購入すれば、何もなくてももうかる」と勧誘された。お金がなく支払えないと断ったら「みんな学生ローンで借りて支払っている。すぐに返済できるので問題ない」と言われたが、借金してでも購入しても大丈夫か。

不確実な話には気を付けましょう

借金をしてまで投資等のためにお金を支払うことはやめましょう。

投資などの勧誘で「もうかるから借金は返せる」と言われても不確実な話であり、借金を返せる保証はどこにもありません。「みんな借りている」「すぐに返済できる」などと言われても、うのみにしてはいけません。



〈相談事例 その2〉

パソコンがうまく動かなくなり、500円で専門家が解決してくれる質問サイトを利用した。一回だけのつもりだったが、後日登録時に入力したクレジットカードから5,000円が引き落とされた。そのような契約をしたつもりはないので、返金してもらえないか。

契約内容を確認しましょう

サブスクリプション(サブスク)の契約になっている可能性があります。解約手続きを行わない限り契約が自動更新されるので、不要な契約の場合は、事業者が定めた手順に従って解約しましょう。返金については、原則として、利用規約に基づく対応となるため、必ずしも返金されるとは限りません。まずは利用規約、契約内容を確認し、不明な場合は事業者に問い合わせましょう。

(注) サブスクリプション(サブスク)とは

定められた料金を定期的に支払うことで、商品やサービスを利用できるサービス。サブスクの契約では、試用期間として無料やお試し価格でサービスを受けられることがあります。無料期間中に解約しなければ、有料プランに自動で移行し、1カ月・1年など定期的に決まった料金が引き落とされます。